



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

●この説明書は、施工後、施主さまにお渡しください。

■取付け順序

※必ず障子ストッパーを取付ける前に召合せ錠を取付けてください。障子のやり越しができなくなります。

【召合せ外錠の取付け】

①外障子の召合せ部に外錠本体を斜め下から差込み、本体を起こします。(A部詳細参照)

※コノジナットは、枠切欠き内部に入れてください。

②取付けねじ(M4×16)で固定します。

③シリンダー座を「上」刻印を上にして外錠本体のシリンダー筒の突起部にはめ込みます。

※上下逆に取付けると破損のおそれがあります。

【召合せ内錠の取付け】

①内障子の召合せ部に召合せツマミを挿入します。

②下部溝がアルミ形材に引っ掛かるまで下方にスライドします。(B部詳細参照)

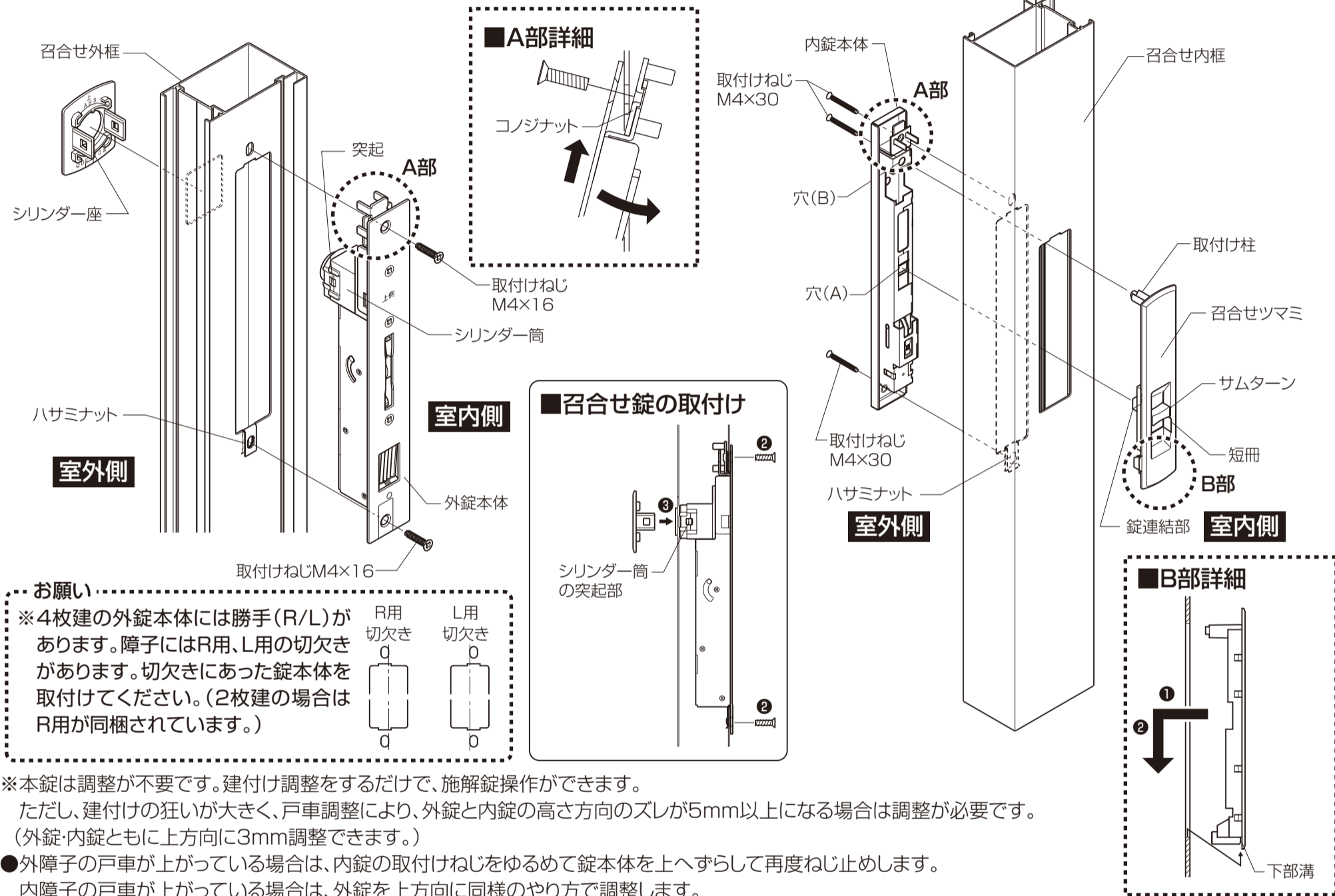
③内錠本体を斜め下から差込み、本体を起こします。(A部詳細参照)

※コノジナットは、枠切欠き内部に入れてください。

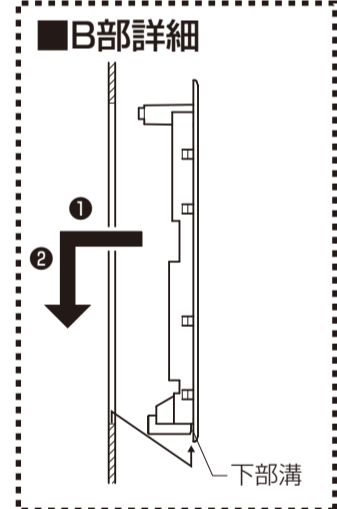
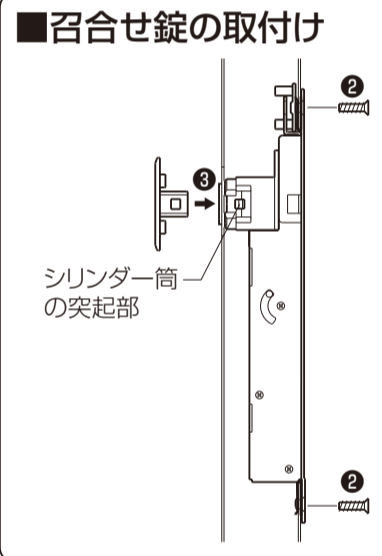
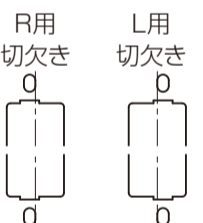
※錠連結部が内錠本体の穴(A)に入るように、また、召合せツマミの取付け柱先端が内錠本体の穴(B)に入るようにしてください。

④取付けねじ(M4×30)で固定します。

⑤サムターン部に差込んである短冊を破れないように外します。



お願い
※4枚建の外錠本体には勝手(R/L)があります。障子にはR用、L用の切欠きがあります。切欠きにあった錠本体を取付けてください。(2枚建の場合はR用が同梱されています。)



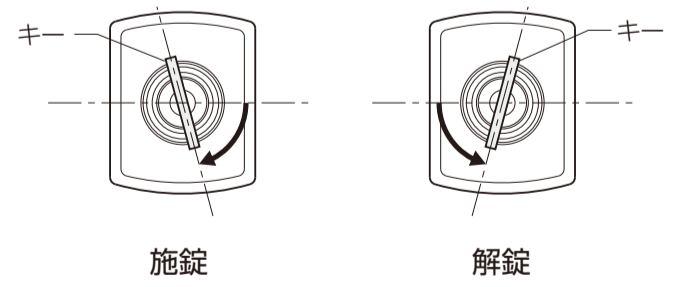
※本錠は調整が不要です。建付け調整をするだけで、施解錠操作ができます。ただし、建付けの狂いが大きく、戸車調整により、外錠と内錠の高さ方向のズレが5mm以上になる場合は調整が必要です。(外錠・内錠ともに上方向に3mm調整できます。)

●外障子の戸車が上がっている場合は、内錠の取付けねじをゆるめて錠本体を上へずらして再度ねじ止めします。内障子の戸車が上がっている場合は、外錠を上方向に同様のやり方で調整します。

■施解錠操作方法

※本錠は安全装置付きのため、障子を閉めないでサムターンの「開」「閉」操作はできません。

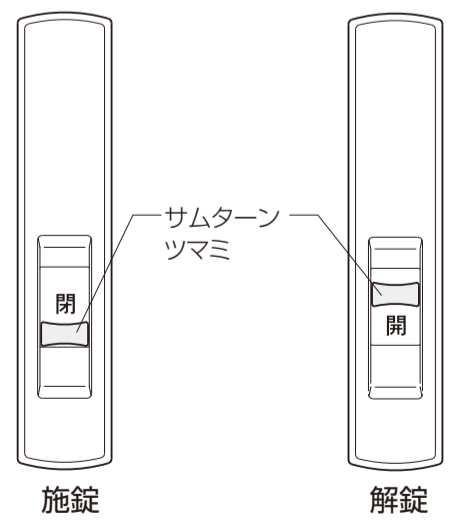
室外(キー操作)



※本錠は調整不要の機構を採用しており、施錠後に障子を開ける操作をした場合、キーやサムターンツマミでの解錠操作が固くなる場合があります。その場合は、一度障子を閉め方向に動かすと操作が軽くなります。

※施錠された状態で、障子の開け方向に強い力が加わると、鎌がズレることがあります。これは、ガタツキをおさえる機構を破壊させないためのものですので、異常ではありません。

室内(サムターンツマミ操作)



お願い
※使用中に「キーが回しにくい」「キーの抜き差しに引っ掛かりがある」などの症状があらわれた場合は、別売の専用鍵穴用パウダー潤滑剤をご使用いただくと改善することがあります。
※また、その場合は市販のスプレー式潤滑油をはじめとする機械潤滑用油脂類などは絶対に使用しないでください。

●当社は、当社商品のユーザー様および流通業者様等の個人情報を商品納入に当たって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他目的のために利用いたします。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの『プライバシーポリシー』をご覧ください。